

セミナー開催案内



安全な農畜産物を作るために必要な知識と
これからの農学教育に求められるGAPとは？

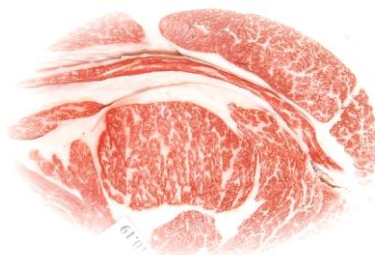


GAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理手法)は、「安全な農産物を作るための生産管理と、持続的農業のための農場環境管理を基本とした適正農業規範」です。このGAPは農林水産省基本政策「21世紀新農政2007」にも盛り込まれており、すでに国内でもGAPに準拠した農畜産物の生産および販売が開始されています。今後その需要は急速に広がると予想されることから、GAPに即応した農学教育の実施が緊急の課題です。本セミナーでは、食品製造分野に限定されるHACCPからGAPへの展開を考えていきたいと思えます。

日 時:平成21年12月18日(金) 13:00～

場 所:宮崎大学(木花キャンパス) 農学部講義棟 L109

3大学テレビ会議システムによる同時配信



講演

- 「食品製造施設におけるHACCPについて」 壹岐 和彦氏 (宮崎県衛生管理課)
- 「畜産におけるGAPとHACCPの関連性について」 濱田 久氏 (宮崎県技術アドバイザー)
- 「宮崎県におけるGAPの取組について」 上原 剛氏 (宮崎県営農支援課)



お問い合わせ

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学農学部

電話(ファックス兼): (0985)58-7198

メール: t-ishida@cc.miyazaki-u.ac.jp

umebayashi@cc.miyazaki-u.ac.jp

石田孝史

GP事務補佐員

梅林 愛